

令和4年度 いのちの授業 事例集（中学校）【技術・家庭】

掲載数

7

地区	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 川崎市	中2	技術・家庭	住まいの災害対策	災害を想定し、住まいの安全に関心を持ち、日頃から災害が起こっても対応できるように考えさせた。阪神淡路大震災での中学生の活躍をDVD鑑賞し、命の尊さや重みだけでなく、地域の人との支え合いや避難所生活における中学生の役割についても考えることができた。	DVD「神戸新聞の7日間」2010年 東宝
2 横須賀市	中3	技術・家庭	生命の誕生から小学校に入るまでの成長	生まれた赤ちゃんがどのような特性を持ち、どのように育っていくのかを映像や教科書を通して学んだ。中学生にとって、昔の記憶は3歳ころまでが多いようだ。生まれてからの体の成長や生活の広がりを知ること、心身共に育った今の自分には、多くの人の手助けがあり見守ってくれていたことを実感していたようだ。	NHK DVD教材 子どもの成長～新生児から幼児まで～
3 湘南三浦	中3	技術・家庭	生命の誕生～出産	家庭科の保育に関する単元の中で、次のような流れで生命の尊さについて考えた。 ①生命の誕生から出産までの知識について学ぶ。 ②生命の誕生から出産までの諸問題について学ぶ（生命が誕生することの尊さ、妊娠中絶、など） ③命を無駄にしないためにはどうしたらよいか。 ④自分の命を大切にするにはどうしたらよいか。 ⑤「いじめ」についてどう考えるか。	授業担当：家庭科 授業は数回分にわたり、継続的に実施
4 中	中2	技術・家庭	食育 「未来のために今日から始める食品ロス削減」	食品ロスの現状やすぐに始められる食品ロス対策についての出前授業を行った。「食品ロスとは何か」「食品ロスはどこで出るのか」「一年間でどれくらいの食品ロスが出るのか」等について、資料を使って具体的に説明し、国及び本県における食品ロスの現状や課題について解説した。また、ポスターを掲示しながら神奈川県食品ロス削減推進計画の概要を紹介した。そして「食品ロスを減らすために私たちができることは何か」を考え、食品ロス削減の具体的な取り組みとして、「食べきり作戦・てまえどり・フードドライブ」等、自分たちが実践できることから始めるという意識を高めることができた。	講師は神奈川県庁環境農政局環境部資源循環推進課指導グループ副技幹及び技師。 資料をICT端末機器で生徒が確認しながら話を聞くことで、具体的なイメージが持てた。
5 中	中1	技術・家庭	住生活「住居の機能と安全な住まい方」	「安全な住まい方」の領域で、安心して安全な住まいと災害への対策について学習した。家庭内事故を防止して命を守るために、事故の起こりやすい状況を予測し、対策を考えたり、災害が起きた時「自助（自分の命は自分で守る）」ためにどのような備えが必要か、考えたり話し合ったりした。	家庭分野教科書・ワークシート 町の災害状況の写真

6	県西	中3	技術・家庭	命の誕生（私たちの成長と家族）	子どもの誕生と成長の学習で、資料集の写真画像を用いて「生命の誕生と成長」について説明し、自分の生まれた時の様子を想像したりしながら、今ここにいることは、当たり前ではなく、家族を含めいろいろな人のお世話になり、見守れてきたからということに気づかせた。	技術・家庭資料集 (明治図書)
7	県西	中3	技術・家庭	「幼い頃を振り返ろう①」～ 妊娠してから出産するまでについて知ろう～	「幼児の生活と家族」について、なぜ学習するのかを考える導入として、母親のお腹に命を宿してから、お腹の中で育って誕生するまでについて知る機会を設けた。小学校では、自分が生まれた時のことを調べまとめている。妊娠中に気を付けることについて、「飲酒や喫煙はよくない」などの知識はあるが、なぜなのか答えられなかった。他にも食生活、日常生活の行動の中でも、赤ちゃんのために気を付けることが多くあるため、生徒からの意見を広げながら考え、ワークシートにまとめた。約10か月間、自分たちが多くの人々に大切に思ってもらい、お腹の中で育ってきたこと、そして自分の命の大切さを改めて実感していた。	